

新型コロナウイルスワクチンの有効性・安全性等に関する情報について

医療従事者の中でも、新型コロナウイルスワクチンの有効性・安全性等への疑問があります。そうした情報、接種についてのお知らせ等が厚生労働省のホームページに掲載されています。下記アドレスを開いていただくか、「厚労省 新型コロナウイルスワクチンについて」で検索してください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

また、コールセンターも開設されています⇒電話番号：0120-761770（9時～21時）

ファイザー社のワクチンについて（厚労省ホームページより一部抜粋）

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンです。SARS-CoV-2のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となるmRNAを脂質の膜に包んだ製剤になります。発症予防効果は約95%と報告されています。

国内の臨床試験での有害事象の発現割合

	主な有害事象の発現割合（%）		
	接種回数	ワクチン接種群	プラセボ接種群
注射部位疼痛	1回目	86.6	2.4
	2回目	79.3	—
疲労	1回目	40.3	9.8
	2回目	60.3	2.4
頭痛	1回目	32.8	14.6
	2回目	44.0	12.2
筋肉痛	1回目	14.3	2.4
	2回目	16.4	—
悪寒	1回目	25.2	4.9
	2回目	45.7	2.4
関節痛	1回目	14.3	4.9
	2回目	25.0	—
発熱 (37.5℃以上)	1回目	14.3	—
	2回目	32.8	—

新型コロナウイルスワクチンの医療従事者等への優先接種について

新型コロナウイルスワクチンは、高知県でも本日から国立病院機構・高知病院及び地域医療機能推進機構・高知西病院での先行接種が始まります。その後の医療従事者等の優先接種は、ディープフリーザーを設置して接種を行う医療機関である基本型接種施設と、概ね100人以上の医療従事者等が勤務し、基本型接種施設からワクチンの分配を受けて実施する医療機関である連携型接種施設とで行われます。

現在、接種券付き予診票の発行に向けての接種予定者リストの取りまとめが、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護連絡協議会を通じて進められています。医師会、歯科医師会に加入していない医療機関については、県の健康対策課で行っています。具体的な接種場所や日の通知は、ワクチンの供給量や予定日などがわかってからになります。接種が順調に進むよう、県の健康対策課に「ワクチン接種推進室」(TEL 088-823-9092)が設置されています。なお「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」を協会ホームページにアップしてありますので、参考にしてください。